

各会議等の実施状況報告について	提出日	令和6年11月19日
	担当課	スポーツ・生涯学習課
会議名称 第1回 湖西市生涯学習推進協議会 開催日時 令和6年10月18日（金）13：30～14：20 開催場所 市民活動センター2階 大会議室 出席者 委員：4名 事務局：3名 【計7名】※傍聴者1名		
1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 委員自己紹介 4. 協議事項 （1）生涯学習推進に向けた提言事項について（事務局説明） （2）各組織・団体における生涯学習の取組事例について 委員：文化協会の会員数は特に変わっていない。伝統芸能などについては高齢化が進む中でコロナの影響もあり、意識が消極的になり活動が減ってきている。そのかわり、こどもの会費を半額補助していることもあって、こどもをはじめ若い方の活動が増えている。また新しい団体も加わり、全体としての会員数は増減なく保たれている。 大正琴などの伝統芸能については、高齢化が進み新しい会員が入ってこないため、減少傾向である。伝統芸能継承の新しい流れをどう生み出すかが課題としてあります。 コロナの影響が大きかったが、ようやくこの頃は普通に活動ができるようになってきた。ボランティアとして介護施設などで大正琴の演奏を行っているが、高齢者も新しい世代になり、これまでの曲でなく新しい曲が好まれるようになってきた。働いている高齢者もいて、趣味の感覚もこれまでの高齢者と違ってきているように感じる。 委員：生涯学習講座の講師の方からお聞きした話だが、講座の後もその活動を続けたいという受講者の方がいて、そのために場所を探すことや、受講料のやり取りが、大変だったりするようでした。教えたい人と、学びたい人が、積極的に活動のできる環境があるといいと感じている。講師の方々が活動をするにあたって、講師の方々同士の交流の場があっても良いのではと思う。 親子ふれあい講座などで、お母さんたちと話して感じたことは、お母さんが講師になってもいいかなとも感じた。小さいお子さんを持ちながら講師として教えたいと考えるお母さんや、教わりただけのお母さんやいろいろいるかと思うので、そういうニーズがうまく満たされる環境があればいいと思う。 委員：新代表のもとで、活動を続けている。活動としては、資料にある各種講座の他、音楽のアンサンブルやサックスの演奏会なども開催している。参加者の減少傾向が否めないのも、もう少し幅広く参加者が募れるよう検討していきたい。 委員：地域の活動において役員のなり手がなくなることが一番のネックである。地区毎の活動がむずかしい場合は、他の地区と一緒に活動をするのもひとつの方法かと思う。活動内容も、規約を変えて「お茶を飲む会」とかの活動もできるようにしている。		

スポーツ活動は、参加者が戻りつつある。施設予約の時期を迎えているが、スケジュールの調整が難しく、思うときに思う活動ができないことがある。

スポーツ活動の参加者も固定化の傾向にあることから、Eスポーツなど頭を使う競技など趣向を凝らして、参加者が広がるよう、いろいろ挑戦していきたい。

事務局：公共施設の利用については、営利を伴ったりすることについてはハードルが高いところがある。講師希望の紹介があれば、既存の学習講座の内容を広げていくことも検討材料のひとつではある。

子育てのお母さんが講師になればということでは、ふたば学級の学級生のお母さんが自分のしている活動を通じて、親子ふれあい講座の講師になっていただいたというケースはあります。

（３）意見交換

委員：市のほうに講師の人材登録されている方は増えているのでしょうか。

事務局：「達人録」という登録がありまして、その登録は少しずつ増えたりはしているものの、あまり活用のアクセスがなく、登録抹消される方もいます。達人録を有効に活用できるよう、インターネットに情報をアップして、登録やアクセスがしやすい環境にすることを考えているが、ネット上の情報の取り扱いについても整理しながら、改善をしていきたい。

委員：講座の先生は、できれば市内の方をお願いができた方がよいと考えるので、人材登録に若い方が幅広く登録できるようになればいい。

委員：公民館の利用基準は地区によって違うのか。

事務局：それぞれの公民館は自治会等によって決まりや制限があると思うが、それぞれの詳細については当方では今お答えができない。

委員：明湖会活動の現状はどうなっているか。

事務局：地区により差はありますが、活動はされている。鷺津地区については、明湖会活動が活発に行われていると聞いております。青少年健全育成大会の実行委員会も主に明湖会で運営されています。活動はされているものの、明湖会の活動と自治会の活動の区分けが外からは見えにくいことはあるのかもしれませんが。

５．閉会

